

「ここにいてもいいんだ」と思える場所をつくろう！

札幌市 小学校教育論：星 徹

1. 簡単な自己紹介

2. コロナで大変だったあの頃、小学校は…

（1）コロナ対策に関わって（2020.2：全国一斉休校～2023.5：5 類移行）

① 学校の様子

机は一つずつ、黙食、鍵盤ハーモニカはアプリで、現地学習は HP、地域探検はグーグルマップ、減る授業数・減らない指導内容、・・・

② 脳や自我の発達に懸念

視覚や聴覚で得た情報を体を使ってまねることで、言葉を覚え、相手の感情を理解できるようになる。赤ちゃんは微笑みかけると笑い返す。この体験が、「相手はこんな気持ちなんだ」という理解につながる。

（京都大学：明和政子）

③ 「発達の糧」としての生活を奪われて育った子どもたち

「声」を発することを抑制して育った子は、自分の「声」を受け止めてくれる他者（信頼に足る他者）に出会った経験さえ希薄なのかもしれない。

（大阪体育大学：八木秀文）

（2）GIGA スクール構想に関わって

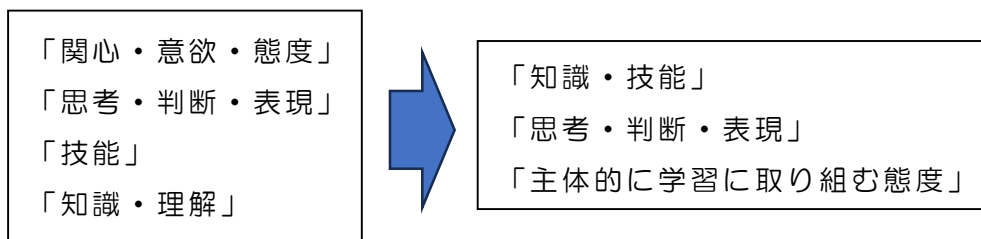
① GIGA スクール構想

当初は 2020 年から 4 年間かけて整備する予定だったが、コロナ禍で加速。

② 1 人 1 台端末

（3）学習指導要領の改訂に関わって

① 評価の観点が変わった



② 子どもへのまなざしが「評価の目」に

評価の妥当性や客観性が求められる

学習カードに書かせる、授業中の様子を記録化、・・・

3. いま、学校は人と人が心を通わせる場になっているのだろうか

(1) 行事の削減、学校の塾化

- ・運動会は？ ・学習発表会は？

(2) Chromebook を使うことが前提に？

- ・友達がすぐそこにいて交流できるのに ・もちろん有効な場合もあるが

(3) 教師の創造性が奪われている。教師の「のっぺらぼう化」

- ・ブレない指導を ・学級だよりは発行するな

(4) 健康観察「シャボテンログ」

- ・機械に入力 ・機械で把握

(5) 毎月の「いじめ対策会議」

- ・いじめとして対応って？ ・いじめの解決って？

(6) 宿題は保護者がマル付け

- ・兄弟が3人いればどうなる？ ・教師はハンコだけ？

(7) 希望者のみの教育相談

- ・かつては家庭訪問 ・いすれなくなるのでは？

(8) 宿題も Chromebook を持ち帰って？

- ・教師の負担軽減のため

4. 増え続ける不登校

(1) 2023 年度の不登校児童生徒数は 346,482 人

(2023 年から 15.9%増)

(2) 道生研の学習会から

- ・交わり（遊び）や体験の不足から新たな環境に参加することへの不安
- ・競争的な関係にさらされ、自分の意志に関わりなく追い立てられている。
- ・学校が一律一斉の傾向、子どもどうしの関係づくりの場になっていない
- ・強い失跡などの指導

・・・など

5. 最近、自分がやってきたこと

(1) 子どものおもしろさにスポットを当てる

- ① 「もっとこの子を知りたい」が、キホンのキ
- ② まずは子どもの声を聴き、気持ちを受け止める

(2) トラブルは子どもたちに返す

- ① 子どもと一緒に整理して、考え、返す。
- ② できれば最後は、笑い飛ばして、明るく前向きに

(3) 社会と繋がる対話や学びを

- ① 社会のできごとやニュースを話題に
- ② 同じものを横並びで見て、考える場を